

# 脱・温暖化フェア2014inひろしま開催 住民・企業・行政が環境取り組みを発表



開会セレモニー

11月21、22日、広島県立産業会館において「脱・温暖化フェア2014inひろしま」が開催された。

「14inひろしま」が主催された。この行事は、脱温暖化センターひろしま、環境省中国四国地方環境事務所広島事務所、経済産業省中国経済産業局、広島県が実行委員会をつくらせて開催しており、今年で5回目を迎える。

このイベントは、国や県、企業や住民などさまざまな主体が、環境問題や政策を共有、啓発しようという企画している。また、普段の活動とは異なる領域の人々に活動を知ってもらうために、情報収集することをねらいに、「建設技術フォーラム」「エコ・インベーションメッセ」と同時開催している。今年度は、「2014建設リサイクル技術発表会・技術展示会」も同時に開催され、約140社が出展し、2日間で約7000人の来場があった。

それぞれのイベントの出展団体は環境配慮

## 地域協議会近況報告会と活動PR

脱温暖化フェアでは、22日、県内各地の地球温暖化対策地域協議会(通称・TEAM)の面々が参集し、活動発表やエコ工作体験コーナー、環境問題に関する情報提供などを行った。

午前中は、会場で車座になり、TEAMを中心に今年度の目玉事業の紹介や成果発表などの近況報告会を実施。環境省や経済産業省、県からも地球環境の最新情報や政策、家庭で取り組める省エネ対策などの情報提供があった。



お互いの近況を報告しあうTEAMの面々(上)、展示ブースで、来場者や他のTEAMメンバーと情報交換を実施(中)、体験コーナーで自慢のアクティビティを披露(下)



午後からは、他のイベント出展者や一般参加者向けの活動紹介、エコ工

作教室を展開した。活動紹介では、TEAMで

作成している教材や取り組みの成果などが所狭しと展示され、出展関係者と一般参加者で賑わった。工作教室は、府中町脱温暖化市民協議会による「ミタペス トリーブくり」、くれ環境市民の会による「ミナハープリースづくり」、ひがしひろしま環境家族による「木の実のクラフト」、脱温暖化センターひろしまの「新聞エコバッグづくり」を行い、

工作を通じて、環境問題や日々の取り組みについて情報交換を行った。

地球温暖化の対策は待ったなしの状況であり、今この瞬間の私たちが一人ひとりの意識改革、実践取り組みが求められている。

脱温暖化センターひろしまでは、TEAMの活動内容について、取りまとめた冊子の発行を予定しており、2月の完成を目指している。これからも住みよい地球を維持していくために、引き続き、温室効果ガス削減の取り組みや、啓発活動を展開していく。

11月26日、広島県内の地球温暖化対策地域協議会(以下、TEAM)は、「第55回広島県公衆衛生大会」の参加者に向けて、活動発表を行った。



⑪ 公衆衛生大会で活動紹介

会場にブースを設け、活動内容をまとめたパネルや日頃の活動で使用している自慢のグッズ、オリジナル教材などを展示。参加者と活発な情報交換が行われ、大いに盛り上がった。

また、ステージ発表も行った。まずは、『地球温暖化対策の推進に関する法律』で定めのある「地球温暖化対策地域協議会」や「地球温暖化防止活動推進員」、TEAMの構成等について解説した。次いで、地域の特色を活かした活動を展開する26のTEAMについて紹介した後、26TEAMを代表して、「大崎上島けんこう文化の島づくり協議会」と「町づくり脱温暖化やすうら」が発表した。

「大崎上島けんこう文化の島づくり協議会」は、目玉事業であるアイドリング



寸劇を交えて、活動内容を紹介(上)、会場にメッセージを発信(中)、多くの来場者でにぎわう活動紹介ブース(下)

ストップ事業について、活動拠点であるフェリー乗り場の風景をバックに寸劇を交えながら紹介。「町づくり脱温暖化やすうら」は、海と山に囲まれた環境を活かし、次世代を担う子どもたちと

一緒に取り組む環境保全事業や健康づくり事業について紹介した。最後に、TEAMと公衛協が良きパートナーとして連携し、「住みよい環境づくり」という同じ目的に向かって互いの活動をさらに盛り上げていきたいと思います」と締めくくった。

参加者の中には、TEAMを初めて知った方や、存在は知っていたが活動実態までは知らなかった方が多く、「同じ目的で活躍する仲間と交流でき、モチベーションが上がった」「ぜひ、一緒に活動したい」という声が聞かれた。

脱温暖化センターひろしまは、今後も他団体と交流できる場を設け、連携を視野にTEAMの活動を広く発信していく。(脱温暖化センターひろしま)

## 公衛協活動の必読書・手引書 『2015公衆衛生推進手帖』が完成

公衆衛生推進手帖は、公衆衛生活動の必読書・手引書として、毎年12月に当協会が作成し、県内約1万人の公衆衛生推進委員に配布しています。印刷製本の費用は、環境・健康募金環境協配分金を充てています。



この手帖は、「公衆衛生活動とは何か」「公衆衛生推進委員の役割について」など、公衆衛生推進委員が実践活動をする際に必要な情報を掲載した手引書です。新任推進委員を対象とした基礎研修のテキスト、環境健康募金の説明、実践活動や学習会の資料、市町公衛協の実践事例や公衛協活動の歴史の確認、環境家計簿や日々の健康づくりの記録など、さまざまな場面で活用できます。

公衆衛生推進手帖を手にした公衆衛生推進委員の皆様、ぼろぼろになるまで何度も読み返し、ご活用ください。(地域活動支援センター)